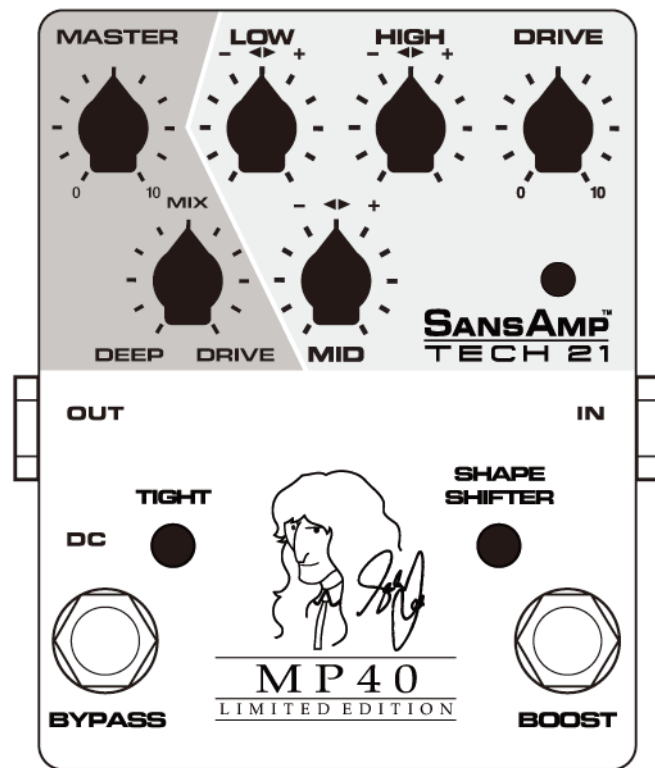


# TECH 21



## Geddy Lee MP40 Limited Edition Signature SansAmp Owner's Manual

### 電源について

標準的な 9V アルカリ電池 006P(別売)を使用します。

注:In にプラグが刺さっていると電源が作動します。電池の消耗を防ぐため使わないときはプラグを抜いてください。

下記スペックのアダプター以外を使用すると破損したり、保証が受けられなくなる場合があります。

-DC9V>100mA 2.1mm プラグセンターマイナス

## 1 はじめに

Geddy Lee MP40 Limited Edition Signature SansAmpは、RUSHの記念すべきアルバムであり、500万枚以上のセールスを記録し、Geddy Leeのベーストーンの大きな転換点となった「Moving Pictures」の40周年を記念しています。「Moving Pictures」は何世代ものベース・プレイヤーにインスピレーションと影響を与え、現在もその影響を受け続けています。

Geddy Leeは1996年のEcho Tour以来、ステージ上のアンプやスピーカーを使わずに演奏を続けてきました。新しいプロジェクトのためにギアを合理化しそして単純化したいと考え、GeddyはGED-2112をTech 21と開発しました。Geddy曰く、「GED-2112は私のベーストーンへの長年のアプローチの結晶です。私がSansAmp RPMから得た「エッジの効いたクランチ」と「ディープクリーントーン」がすべてこの中に入っています。」GED-2112のラックマウント・デザインは、パラレル・プリアンプという新しいフレームワークを導入しました。コンパクトなYYZは、このコンセプトを踏襲し、2つの信号経路をシンプルに融合させる構造を採用しています。ラックマウントのデザインとペダルのポータビリティを融合させたDI-2112 SansAmpは、スタジオのデスクトップやアンプトップにもマッチする新たなフォーマットを提供します。

Geddy Lee MP40 Limited Editionは、Hugh Symeがデザインした象徴的なアルバム・ジャケットに敬意を表し、黒と赤の新しいカラーリングとカスタム・アートワークを施しています。

MP40 SansAmpは、YYZをベースに、新たに選択可能なブースト・ストンプ・スイッチを搭載し、ダート・サウンドを強調することができます。それぞれのSansAmpはゲディのコアなサウンドと様々なスタイルに対応する汎用性を備えています。

## 2 接続

### ベースアンプとの接続:

#### プリアンプとして接続:

本製品の出力を直接パワーアンプのINPUT(またはベースアンプの「エフェクトリターン」)に接続します。これによりアンプのプリアンプ部をスルーして本機でコントロール可能です。

#### 外部エフェクトとして接続:

1/4 インチ出力をベースアンプのフロント入力(メインの入力端子)に接続します。最良の結果を得るには、アンプへの入力が増えすぎないように、SansAmp のレベルを必ずユニティゲイン(出力レベルが本機のON/OFF 時でほぼ同じ状態)に近づけてください。

フロント入力を使用するときにアンプを設定するためのヒント:

- 1.LOWゲインチャンネル入力に接続します
2. プレゼンスコントロール(該当する場合)を 12時以下に設定します。
- 3.アンプ側のトーンコントロールをできるだけフラットに設定します。

### PAパワーアンプへ接続:

1/4" 出力もしくは XLR OUTを PA ミキサー、もしくは、PAパワーアンプの入力に接続します。本製品のLevel コントロールで音量を調節します。

### ダイレクトにレコーディングする:

XLRまたは1/4"フォン出力をミキサー/レコーダーの入力に直接接続します。ミキサー/レコーダーの入力レベルコントロールを操作して入力が増えすぎないように調節してください。本機のレベルが12時を下回っていても過負荷になっている場合は、それぞれの出力レベルスイッチを使って出力を下げます。これらのフルレンジシステムは幅広い周波数に対応しています。まずは12時のEQレベルから始めてください。

### BE CREATIVE!:

本機は、必ずしもベース用だけではありません。チェロ、キーボード、フィドル、ドラム、サックス、ハーモニカ、ボウなどでも試してみてください。また、ミックスダウンでのリアンプなど、他の用途でも使ってみてください。

## 3 入出力

### 電源を入れる順番について:

本機の電源を最初にオンにし、最後にオフにします。機器を接続または切断するときは、スピーカーを損傷する可能性のある「ポップ」を防ぐために、プラグの抜き差しを行う前に、必ずミキシングボードをミュートにするかアンプの音量を完全に下げてください。

### 入力レベルについて:

本機はベース本体、ディストーションペダルのアウトプットなど、インストゥルメントレベルのインプット信号を入力するように設計されています。想定の入力信号レベルはおよそ-10dB / 250mVです。(一般的なエレキギターに近い数値)

注意: 高出力なピックアップは本機のゲインレベルを増加させます。

### 1/4" フォン入力:

1/4"フォン1MΩ、インストゥルメントレベル。プラグが入力されると自動で電源をONします。バッテリーの消耗を防ぐため、本機を使用していないときはプラグを抜いてください。

注意: 絶対にアンプのスピーカー・アウトから本機の入力に直接接続しないで下さい。  
アンプや本機が故障する恐れがあります。

### 1/4" フォン出力:

アンバランス低インピーダンス出力。あらゆる機材と互換性があります。  
フルレンジ(テープ、スタジオモニター、PA、ステレオ)とリミテッドレンジ(ラックシステム、リアンプ、ヘッドとキャビネット、コンボ、練習用アンプ)。

## 4 コントロール

最初のGeddyシグネチャーモデルであるGED-2112は、パラレルリアンプのために2つの別々の内部リアンプを並行して走らせる構造を取り入れた機種でした。このコンセプトに沿って、本機は、独自のMixコントロールを介して2つのシグナルパスを簡単にブレンドするための構造を取り入れました。

### DRIVE:

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調整します。真空管アンプのオーバードライブを再現します。クリーンサウンドでは入力感度を調整します。太いクリーンサウンドを作る場合は、Driveが歪むまで大きくし、その後消えるまで徐々に小さくします。

### HIGH,LOW:

カットするだけのパッシブトーンコントロールとは異なり、12時位置を±0として±12dBカットまたはブーストします。HIGHは3.2kHz、LOWは80 Hzが中心周波数です。

### MID:

2kHz @ 20dBブースト/1kHz @ 10dB カットします。

### TIGHTボタン:

クリーンでは音に輪郭を与え、歪みではよりキレのある音にします。

### BOOST / SHAPE-SHIFTER ボタン:

常識から逸脱した「セレクトアブルブースト」機能。12dBのプレゼンス・ブーストを行い、トップエンドの歪みを増加させることができます。

シェイプシフター・スイッチをオンにすると、ゲディ曰く "何とも言えない素晴らしさ"を持つ6dBのSchmegilkaをトップに追加できます!

注: ブーストはMP40 SansAmpにのみ作用します。シグナル・チェーン内の他のデバイスに「パススルー」することはありません。

### MIX:

ハイエンドスタジオクリーン(ディープ)とダーティベースチューブアンプトーン(ドライブ)の比率を調節します。ディープサイドは、濃厚で肉付きの良いトーンを提供し、プリセットされたEQカーブはGeddyのパーソナルスベックに合わせてカスタマイズされています。Drive側は、自由度の高いGED-2112に基づいています。

### MASTER:

全体の音量を調節します。音質を変えずに出力レベルを調節します。

録音の場合は、12時以上に設定することをお勧めします。

アンプで使用する場合は、出力レベルはバイパスの信号に近い等しく設定してください。望ましくない不規則な歪みが生じる場合があります。

### LEDインジケーター:

青に点灯: ペダルがオンの状態

紫に点灯: ペダルがオンの状態で、BOOST / SHAPE-SHIFTER ボタンもONの状態

赤に点灯: BOOST / SHAPE-SHIFTER ボタンがON状態で、ペダルはOFF(バイパス)の状態

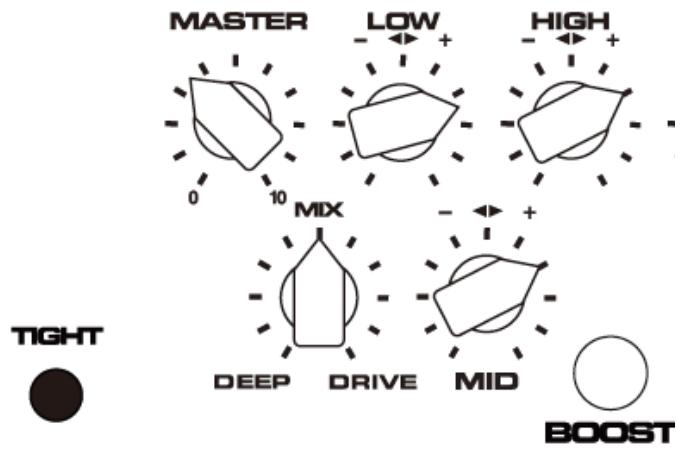
注: バイパスの時は、ブーストは効きません。

## 5 使用上のヒント

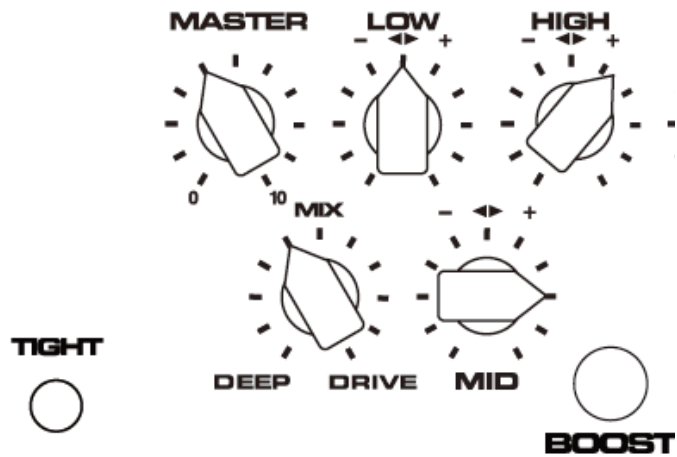
- ◆ 演奏テクニックのダイナミクスとニュアンスに対する高い反応性を損なわないために通常、楽器から直接接続してください。  
その他エフェクトを使用する際は一般的な使用方法として、  
本機の前: コンプレッサー、エンベロープフィルター、ワウ等  
本機の後: コーラス、ディストーション(その他)、エコー、リバーブ、ボリュームペダル等  
をおすすめしますが、お好みに合わせて配置してください。
- ◆ 本機は、インタラクティブなツールです。さまざまな信号レベルや、あなたのタッチに対して、異なる反応を示します。例えば、より強い信号と強いタッチで演奏すると、ゲインレベルが増加し、よりオーバードライブなサウンドに。逆に、弱い信号と軽いタッチでは、ゲインレベルを減少させ、よりクリーンなサウンドにします。
- ◆ 本機のコントロールは異常に緻密なセッティングを可能にするため細かく設定されています。最大の結果を得るためには、すべてを最大に設定する必要はありません。  
最適な設定を見つけるには、12時のトーンコントロールから始めて、必要に応じてカットまたはブーストします。設定はアンプや環境によって大きく異なるため、その都度ベストなサウンドを探してください。
- ◆ 本機のノイズレベルは非常に低く設計されていますが、入力ソースから発生するノイズを増幅する可能性があります。本機のコントロールは異常に敏感であり、高レベルの出力を出すために最大レベルの入力が必要としません。本機に入るノイズを最小限に抑えるために、エフェクターは、トーンコントロールをフラットに設定してください。もしブーストする必要があるならば、ゆっくりと控えめに設定してください。シングルコイルピックアップはノイズを生成する可能性が高くなります。しっかりとノイズ対策を行ってください。
- ◆ バッテリーの電圧が低下し始めると(約6ボルト)、LEDは著しく暗くなります。

## SansAmp MP40 Sample Settings

### Geddy Lee's Personal Setting



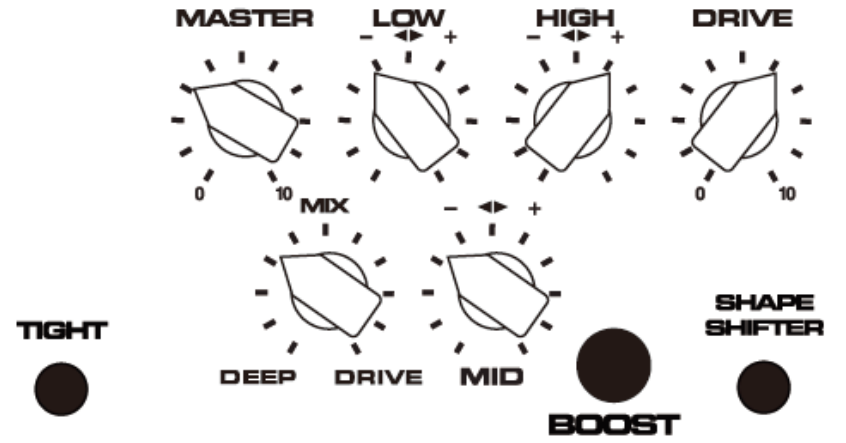
### YYZ



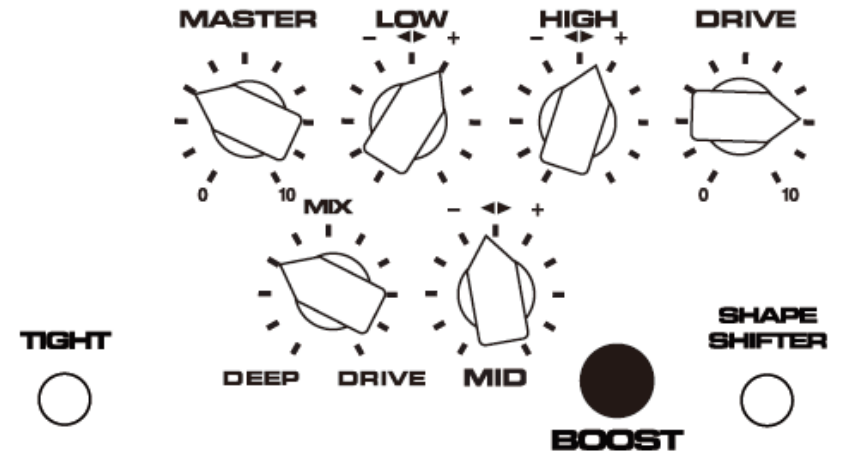
## SansAmp MP40 Sample Settings

ON (IN) ● OFF (OUT) ○

### Rickenbacker Shape Shifter



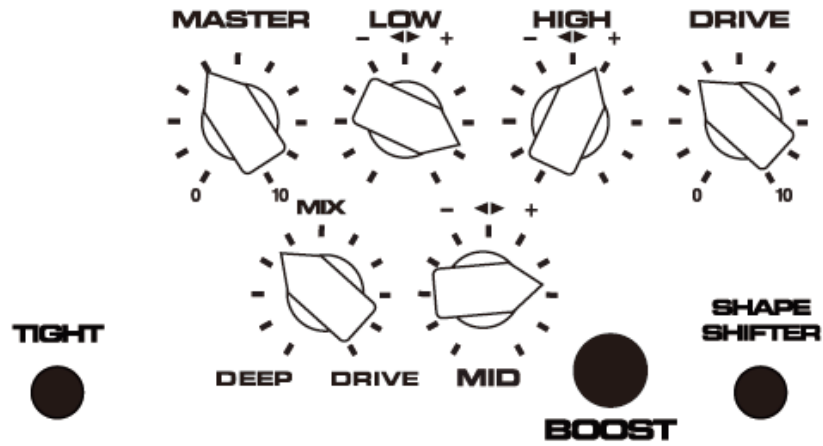
### Camera Eye



## SansAmp MP40 Sample Settings

ON (IN)  OFF (OUT)

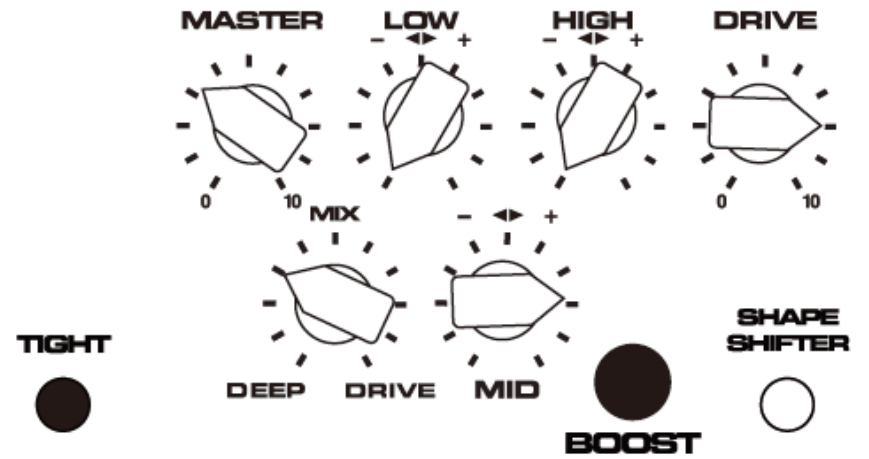
### Red Barchetta



## SansAmp MP40 Sample Settings

ON (IN)  OFF (OUT)

### Bi-Amped Overdrive



### Warm Tube/Studio

